

# ★サキタ・キラリ 北辰の輝き★

～わくわく・きらきらの佐世保北高だより～

★秋～冬のキラリ特集★みんなのキラリを紹介してもらいました★ 2026.1・2 ①

## ★高校生アントレプレナーシップゼミ★ 「高校生ライフセーバーで海水浴場の海開きを目指す」 株式会社サイノウ賞・活水女子大学賞 2年 今里結菜さん

活動期間：6月～

主催：長崎県教育委員会・高校教育課

活動概要：長崎県内の県立高校生が集まり、県高校教育課や外部講師による集合研修を大学のゼミ形式で受け、地域課題の解決や魅力化等に取り組むことで、起業家精神を磨く。



私は起業に興味があり、実際に起業されている方々からのお話を聞くことで、起業とはどういうことか詳しく知ることができました。また、県内の高校生と一日中過ごし、ホテルに宿泊して夜遅くまでテーマ決めをしたり、グループを組んで実際に地域の方々にお話を聞いたり、市に連絡をしたりする中で、自主的な行動力がとても身に付いたと思います。

15人ぐらいの起業家や大学の先生が聞きに来る最終発表では、自分たちがメンターの意見を取り入れ、制作したスライドで発表し、高校生ライフセーバーで海水浴場の海開きを目指すというタイトルで、株式会社サイノウ賞と活水女子大学賞を取ることができました。この経験を活かし、将来に役立てていきたいです。(2年 今里結菜)

【事前課題】サービ事例研究	チーム名: Next Bay 参加者: 今里結菜 荒木聖 前田遥輝
サービス商品名	高校生ライフセーバーを養成して期間限定で海水浴場を海開きさせる
事業主体	Next Bay
サービスマン	アプリ Web
サービスマン	少子高齢化の影響でライフセーバーの人手不足が深刻化し、安全保障の観点から開閉を有する海水浴場が増加傾向にある。地域の観光資源としての海水浴場が、今後持続的に活用されるためには、安定した人材供給体制の構築が急務であると考える。
課題・ターゲット	地元産品を売りたいというニーズがあるが、それを実現できていない。観光客や地元産品を売るための販路を確保したい。地元産品を売るための販路を確保したい。地元産品を売るための販路を確保したい。
提供価値	安全管理体制の弱い海水浴場をライフセーバーを養成し、人材不足により開閉が困難な海水浴場へ派遣することで、安心して楽しめる海水浴場の環境づくりを実現する。
サービスマン	ライフセービングに関心を持つ高校生、大学生を対象に、人材の育成、育成を行う。必要に応じて各種の派遣サービスを提供する。
ビジネスモデル	育成費の回収が難しい。地域の企業や団体との連携を強化し、育成費を回収する。地域の企業や団体との連携を強化し、育成費を回収する。
リスク	ライフセーバー不足の海水浴場に派遣する(ビジネスモデル) 地域や企業との連携



他校の生徒とチームを組んで、ビジネスプランを構想し、様々なコンテストに応募するプログラムです！興味がある人は次回、挑戦してみませんか？

## ★Sasebo Change 国際交流チーム★<稲刈りイベント> 佐世保北からも 古賀美咲さん、太田燈惟さんが参加しています。



Sasebo Changeとは、佐世保の高校生が自分たちの力で企画・運営する学校横断型のサークルです。学校の枠を超えてつながり合い、佐世保を魅力的な街にするために、活動しています。

Sasebo Change国際交流チームのイベントとして、去年に引き続き稲刈りを開催しました！ベースのキーストーンの方や公立高校のALTの方を招待し、稲刈りをした後に、私たちが作ったみそ汁やご飯を日本のご飯のお供と共に食べてもらいました。

☆私は、今年初めての参加でとても緊張しましたが、慣れない英語でも最後まで聞いてくださって、英語で返してくださって、英語の勉強にもなり、その上様々な方とかかわることの大切さを改めて学ぶ機会となりました！日本ではお米がとても大切にされていることを教えることができていなかったなど、沢山の改善点が見つかったので、改善してこれからや来年の活動に活かしていきたいと思いました！(2年 古賀美咲)

☆稲刈り体験は2回目でしたが、今回は初めて企画者の立場に立ち、その大変さを改めて実感しました。ただ、そのような状況にも関わらず、メンバーや参加者と共に楽しむことができたので、とても有意義な経験になったと感じています！(2年 太田燈惟)



11月にはボランティア養成講座のお知らせもあげてくれていました。興味のある人はつながってみてくださいね！

# ★サキタ・キラリ 北辰の輝き★

～わくわく・きらきらの佐世保北高だより～

★秋～冬のキラリ特集★みんなのキラリを紹介してもらいました★ 2026.1・2 ②

## 第36回全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会 女子組手・優勝 A級蹴武の型・優勝 2年 橋本佳和

今回の試合は、三冠を目標にしていたのですが、惜しくも二冠となってしまい、悔しい思いもあったのですが、お守りや手紙を友達にもらったり、クラスメイトからの応援で、最後まで自分の納得いく試合ができたと思います。決勝前の緊張も、周囲の人からの応援が背中を押してくれたことで、勝ち切ることができました。応援ありがとうございました。(2年 橋本佳和)



## ★高校生Ringファイナリスト！原明日馬さん★ ～全国から応募された167校3万4,206人の中から5組に選出～

令和8年2月7日(日)東京都内でプレゼンテーション！  
リクルートが主催するビジネスプランコンテスト。  
みんなの半径5mにある「こんなあったらいいのにな」  
それをビジネスに変える「発見」と「発想」の祭典です。

私は高校生リングで、課外活動の実績を証明する「NaviBase」を提案しました。原点は、自身のこれまでの課外活動での経験です。必死に学んでも調査書には一行しか残らないもどかしさを変えたいという一心で、収益モデルや大学側の利点など、ビジネスの構造を一から練り上げました。

結果はグランプリを逃しましたが、審査員の方やリクルートの社員の方々との対話を通じ、このビジョンが社会に必要なだと確信できました。1人でのプレゼンは不安や緊張もありましたが、この経験を糧により成長していきたいです。(2年 原明日馬)



## ★長崎ミライ実現ゼミ★

☆本校でも3月3日(火)に  
中3・高1・2に講話していただきました!

開催日：令和7年12月27日  
主催：北九州予備校  
講師：宇野健司先生  
テーマ：  
『正解のない問いに、チームで挑む』

東京大学で超人気ゼミ、通称「宇野ゼミ」の講師である宇野先生による特別講義。宇野先生の授業には、教科書通りの「正解」はありません。実際に社会で起きている課題を題材に、まるで会社の社長やプロジェクトリーダーになったつもりで決断を迫られます!

◆◆◆◆◆  
今回、このゼミを通して他校の人たちと交流し、自分の目標を再確認することができました。長崎市周辺の高校から来た人が多く、初めて交流する学校の人が多かったのですが、話しやすい人ばかりで、心置きなく交流することができました。宇野先生の講義では、宇野先生が大学選びや留学の良さについてなどを話していただき、勉強の大切さに改めて気づかされました。他にも、英語の勉強方法や目標の目安など、とても学びの多いゼミでした。貴重な経験を得ることができたので、これからの学習に活かしていきたいと思います。(2年 山口蕾登)

◆◆◆◆◆  
私は、この未来発見ゼミに参加して、とても有意義な時間を過ごすことができました。まず、東京大学の宇野先生の話は、将来や留学に関する話で世界に行くことで視野が広がるということを熱弁してくれました。留学したいという気持ちが強くなりました。そして、そのあとにあった北九州予備校の講師による英語の授業でも学べたことがたくさんあり、これからの自分の英語の勉強に生かそうと思いました。一日を通して、他校の生徒と触れ合うことによってよい刺激を得ることができました。特に青雲の人たちの東大への意識がとても強いと感じ、自分も頑張らないといけないと思いました。このゼミで学んだことを生かしてこれからの日々を過ごそうと思います。(2年 鈴田裕貴)

◆◆◆◆◆  
今回の講座で学んだことの一つに「勉強だけの人間にならない」ということがあります。留学の大切さやグループでの立ち回り方などの話を聞く度に、自己PR力やコミュニケーション能力が要となるのだと実感し、そして、それらの力は机の上で勉強するだけでは養えない力だと思います。  
印象に残っているできごととして、宇野先生に質問をしに行った時のことがあります。私は授業に関する事で真面目な質問をしてしまったのですが、一緒に質問しに行った青雲高校の先輩が聞いたことは「先生は今日お昼何を食べるんですか」でした。初めはそんなことを聞くのかと驚いたのですが、そこからさまざまな話に発展していき、海外生活や読書について多くの話を聞くことが出来ました。つまり、きっかけは何でもいいのだと思います。とにかく積極的に動くこと、そしてそれを少しでも自分の財産として落とし込むことこそが大切なのだと思います。決して、勉強だけをする機械のような人ではなく、明確な意思で自らの能力を高めていく人を東京大学が、さらには社会が求めているのだと思います。  
この学びを実生活にも生かして、より実りのある高校生活にしていきたいと思います。(1年 吉永穂香)

# ★サキタ・キラリ 北辰の輝き★

～わくわく・きらきらの佐世保北高だより～

★秋～冬のキラリ特集★みんなのキラリを紹介してもらいました★ 2026.1・2 ③

## ★Nagasaki Leaders Meeting★ イノベーションハイスクール指定校の高校生が集まりました

開催日：令和7年12月25日

主催：長崎県高校教育課

高校生が夢や希望を語りながら、自分事として地域や学校の未来像を思い描きました！！



イノベーションハイスクールに指定された7校で長崎の未来について意見を交換する、という文言からワクワクしてしまうような今イベントに参加させていただき、とても有意義な時間を過ごすことができました。様々な方面で活躍されている大人の方々も交え、自分には気付けない視点からの意見も多く得ることができ、更にはそれを長崎を活性化させるプランに昇華させることができました。他の場所では得られないこの経験を、これからの生活に活かしていきたいです！

(2年 浦田紳太郎)



私が参加した長崎リーダーズミーティングでは、長崎県内から7つの高校が参加し世代や立場を超え、生徒・教員・社会人が同じグループで「長崎のありたい未来」について話し合いました。この活動を通して長崎の課題を発見することができたほか、柔軟な発想を持つ高校生と、経験豊富な社会人の方々がお互いに意見交換ができる深い学び合い場所となりました。私はこの経験からこれからの人生視野を広く持ち、学び得続ける姿勢を大切にしていきます。(2年 笹岡真光)

私は長崎リーダーズミーティングに参加しました。この活動には長崎県の高校生と先生方、社会人の方々に参加されました。主にこれからの長崎についてグループに分かれて話し合い、それぞれのグループで課題に対して解決策を発表していく活動でした。お互いをニックネームで呼び合い楽しく議論するのは凄く楽しくて、またどんどんアイデアが浮かんできました。他の高校生の探究活動も知れて参考になりました。社会人の方々からの意見もとても参考になって議論を深めることができました。他にも、社会人の方がやっている仕事について教えてくれたり、進路についても教えを頂きました。最後にこの活動を通して長崎の高校生だけでもどんな活動をしているかを知り合い協力することで探究活動がもっとより良いものになるんじゃないかなと思いました。(2年 山口大輔)

## 佐北の探究★ 1年 観光・地域資源班：未利用魚を利用しちゃおう！ てらもと商店様のご協力を得て「魚の混ぜおにぎり&あら汁」販売

開催日：令和8年2月16日

メンバー：岩田直樹、石村夕季、草場日奈、吉住勇氣、柴田早那

先日、もったいない魚を使ったおにぎりとお汁の販売にお越しいただき、本当にありがとうございました。

私たちは観光・地域資源というテーマで探究活動を行うと決まったとき、まず佐世保市の課題について考えました。すると、佐世保市には多くの魅力や地域資源があるにもかかわらず、それを十分に発信・活用できていないという点に気づきました。そこで私たちは魚に焦点を当て、もったいない魚を使った新たなグルメを開発し、佐世保市の魅力を発信したいと考え、この活動を始めました。



販売に向けて、おにぎりの試作を行い、そのときに味や具材の組み合わせを班みんなで考え、より良い形で販売出来るよう工夫しました。また、魚の移動や売上の計算、調理のお手伝い、接客などを体験させていただいたり、ポスター作成や校内放送などの広報活動にも取り組んだりしました。商品を作るだけでなく、「どう伝えるか」も大切だということ学びました。さらに、購入してくださった方にアンケートを実施し、味や価格、未利用魚についての意見をいただきました。その意見をこれからの探究活動に活かそうと思っています。

さらに、相浦魚市場さんやてらもと商店さんに自分たちで連絡を取り、協力をお願いするという経験もしました。社会の方と直接やり取りすることは簡単ではありませんでしたが、礼儀や責任感、行動力の大切さを学ぶことができました。今回の活動を通して自分たちから行動する力をつけることができましたと思います。

未利用魚はまだ十分に活用されていない魚ですが、工夫次第ではたくさんの人に喜んでもらえる可能性を持っています。今回の販売をきっかけに、その魅力が少しでも広がっていただければ幸いです。



個人的な話ですが、私は将来食品に関わる仕事に就きたいと考えているため、今回の販売で、自分の将来や進路をより具体的に考えるきっかけになりました。これからの総合探究でも、今回の反省やアンケート結果を生かしながら、もっと地域資源について探究し、佐世保市の魅力をより良い形で発信できればいいなと思います。

(1年 柴田早那)